

先日は手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。5月てがたんの観察記録を作成しましたのでご覧ください。次回6月の「てがたん」は6月9日(土)で「田んぼの生き物観察」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

*市民スタッフの方へ 次回のとがたん下見&打ち合わせは**6月2日(土)**です。よろしくお願いいたします。

5月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→香取神社→手賀沼遊歩道
- 観察日時/天気 2012年5月12日(土) 10:00~12:00 / 晴れ
- 参加者 25名
- 市民スタッフ 16名 (伊藤茂子、岡廣志、加藤文雄、蒲田知子、吉川和俊、椎谷秀衛、須貝基康、竹本周平、榑崎毅夫、弘實さと子、藤原玉規、松村定雄、水上香苗、村田富美子、保田行弘、湯瀬一栄)
- 鳥博職員 3名 (木村孝夫、斎藤安行、村松和行)

観察記録 — 5月てがたんで観察した生き物リスト—

【鳥類】

カイツブリ科：カイツブリ/ウ科：カワウ/サギ科：ダイサギ、アオサギ/カモ科：カルガモ、コガモ/キジ科：キジ/クイナ科：オオバン、バン/チドリ科：コチドリ/カモメ科：コアジサシ/ハト科：キジバト/ツバメ科：ツバメ/セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/ウグイス科：オオヨシキリ/シジュウカラ科：シジュウカラ/メジロ科：メジロ/ホオジロ科：ホオジロ/アトリ科：カワラヒワ/ハタオリドリ科：スズメ/ムクドリ科：ムクドリ/カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス/外来種や家禽：コブハクチョウ

【魚類】

メダカ科：メダカ

【両生類】

ヒキガエル科：ニホンヒキガエル(幼生)/アマガエル科：ニホンアマガエル/

アオガエル科：シュレーゲルアオガエル(声)

【昆虫・クモ】

ハチの仲間：ニホンミツバチ、コマルハナバチ、ハナバチ(種不明)/チョウ・ガの仲間：アゲハ、アオスジアゲハ、ナガサキアゲハ、クロアゲハ、モンシロチョウ、ベニシジミ、ムラサキシジミ/甲虫の仲間：ナナホシテントウ、イタドリハムシ、クロウリハムシ、コガタルリハムシ(幼虫)/カメムシの仲間：ヨコツナサシガメ/バッタの仲間：ヤブキリ(幼体)

【花】

キク科：セイヨウタンポポ、オオジシバリ、ノゲシ、オニノゲシ、ハルジオン、オニタビラコ/シソ科：ホトケノザ、ヒメオドリコソウ/アブラナ科：タネツケバナ/マメ科：カラスノエンドウ/ゴマノハグサ科：オオイヌノフグリ、タチイヌノフグリ、ムラサキサギゴケ、カワチシャ/カタバミ科：カタバミ、オッタチカタバミ、ムラサキカタバミ/ナデシコ科：ノミノツヅリ、コハコベ、ハコベ、オランダミミナグサ/セリ科：ヤブジラミ/バラ科：ヘビイチゴ、オヘビイチゴ、ヤブヘビイチゴ/ケシ科：ナガミヒナゲシ/ムラサキ科：キュウリグサ/ラン科：シラン/キンポウゲ科：ケキツネノボタン/アヤメ科：ニワゼキショウ、オオニワゼキショウ、キショウブ/サトイモ科：カラー(植栽)/スイレン科：スイレン(植栽)/ツツジ科：オオムラサキツツジ(植栽)/モクレン科：カラタネオガタマ(植栽)

5月の観察アルバム



今回のてがたんのテーマは「鳥の子育て」でした。巣の周りを飛ぶハクセキレイやハシボソガラスの巣、ヒナを連れたコブハクチョウなどを観察しました。植物はニワゼキショウやキショウブなどアヤメ科の花が目立ち始めました。田んぼではニホンアマガエルやシュレーゲルアオガエルの鳴き声が聞こえました。



今月の案内人 須貝基康さん、弘實さと子さん



① ギシギシについたコガタリリハムシ（幼虫）



② 香取神社でハシボソガラスの巣を観察



③ 神社周辺でたくさん咲いていたオニタビラコの花



④ 肉食のキリギリスであるヤブキリ（幼虫）



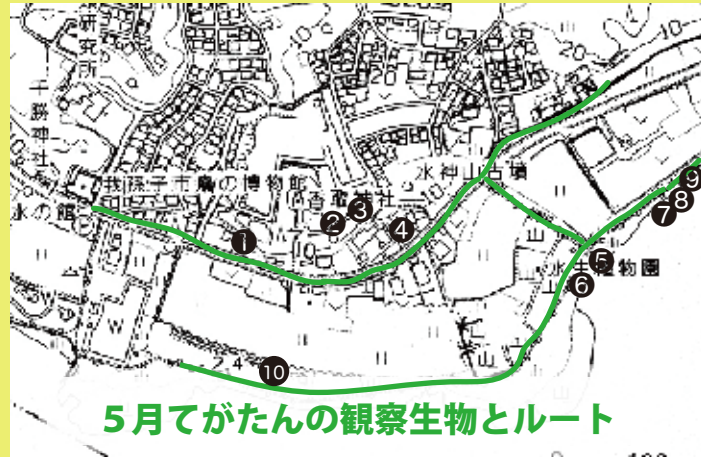
⑤ ヘビイチゴよりも大型で葉が濃い緑色のヤブヘビイチゴ

オオパンと抽水植物

ヒメガマやマコモのように根が水中にあり、体の大部分が水上に出ている植物を抽水植物といいます。

現在、手賀沼にはヨシ、マコモ、ヒメガマの3種の抽水植物があり、水深が最も深い場所にヒメガマが生えています。

以前、博物館でオオパンの営巣状況を調査した時は、ヒメガマの群落の中で巣が最も多く見つかりました。



5月てがたんの観察生物とルート

食用されるマコモ

今回、マコモを食べるコブハクチョウを観察しましたが、マコモは鳥だけでなく人間にも食用されます。

①マコモダケ

黒糖菌の一種によって肥大したマコモの新芽で、アジアの各地で食用されます。

②ワイルドライス

マコモの種子のことで、古くからアメリカで食用されています。



⑩ 脱皮中のヨコヅナサシガメ（赤い部分が脱皮殻）



⑨ 先月のてがたんでは抱卵中だったコブハクチョウの巣



⑧ マコモの柔らかい基部を食べるコブハクチョウの親子



⑦ 湿った場所に生えるケツネノボタン



⑥ ソメイヨシノの蜜腺
サクラは蜜腺から蜜を出してアリを誘引し、害虫から葉を守る

身近な鳥の巣

今回のてがたんでは、鳥の巣の話をしました。鳥には大きく分けて、カップ状の巣をつくる鳥（オープンネスター）と樹洞や巣箱のような穴を巣として利用する鳥（ホールネスター）があります。

身近な鳥たちの巣を、いくつか紹介します。



メジロの巣

細いビニールやコケなどを使って小さなカップ状の巣で、庭木でもよく見つかる



セッカの巣

イネ科植物の葉や穂などを使い、クモの糸でつづった深いコップ状の巣



フクロウの巣箱

大きな木の洞（ほら）やカラスの古巣を利用するが近年は巣箱の利用も多い



カワセミの巣

土の崖にトンネル状の巣穴を掘る